

2022 年度臨海実習 新型コロナウイルス拡散防止対策

以下の感染防止対策を行ってください。

7月 21 日（木）～23 日（土）SSH 事業として実施します。

本年度は例年通り二泊三日とし、人数制限するため、SSH 主対象の生物班の生徒でのみ行う。

現在、県立いえしま自然体験センターでは宿泊棟数を制限して運営しています（県立いえしま自然体験センターHP より）

1 各自交通機関を利用し姫路港集合

体調の悪い生徒、前日、当日 37℃を超える発熱や風邪等の症状があるのある生徒は参加しない。すぐに引率教員に連絡する。（島には病院もなく、海に入るフィールドワークなので例年のこと）

公共交通機関を利用する者は必ずマスク着用

2 姫路港←→県立いえしま自然体験センター棧橋

待合室、乗船時はマスクを着用（乗船時間約 30 分）

3 県立いえしま自然体験センター棧橋←→県立いえしま自然体験センター

熱中症対策としてマスクを外して移動（移動時間約 25 分）

県立いえしま自然体験センターではセンターの新型コロナ対策を遵守する。

4 県立いえしま自然体験センター実験室内（消毒液は学校から持参する）

手指の消毒をアルコールで行い、必ずマスクを着用

5 宿舍 21 日 15:00 入室 23 日 10:00 退出

定員の半数で利用

クーラーエアコンはないので常時窓を開けて利用する。

就寝時以外 宿舍内、実験室、食堂との往来では必ずマスク着用

10 人用コテージ 男子 3 人 教員 1 人

10 人用コテージ 男子 3 人 教員 1 人

10 人用コテージ 女子 4 人 教員 1 人

夜中はウニの発生実験の観察を継続する。実験室に 2 時間ずつ 2 名～3 名が観察を交代で継続し、教員も交代で指導に当たる。

6 食事

到着後の昼食は手指の消毒後屋外で行う。

21 日夕食・22 日朝食・昼食・夕食・23 日朝食・昼食は広い食堂で行い、対面では食事をしない。センター食堂の新型コロナ対策（去年も手洗い消毒を行っていた）を遵守する。（これまでも密集するほどの利用者を確認したことはない）

7 入浴

現在センターでは、利用人数を制限しており、浴槽は使用しておらずシャワーのみとなり、時間が延長されている。観察と並行して、順次利用する。

